

科目番号		54029	分類	専門科目 基礎公衆衛生看護学	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年	
科目名	地域成人・高齢者保健論 (Community Health for Adults and the Elderly)							1	
								配当シスター	
								前期	
担当者	○岸 恵美子			区分	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概 要】 地域における成人，高齢者の個人・家族・集団への個別支援の実践方法を学ぶ。成人や高齢者に対するアセスメントを通して，家庭訪問や保健指導，健康相談における支援の方法や技術を具体的に学ぶ。 【目 標】 ・成人期の保健活動における法制度が説明できる ・特定健康診査・特定保健指導の個別支援について説明できる ・高齢期の保健活動における法制度が説明できる ・地域包括支援センターにおける保健活動について説明できる							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
								2.地域住民の自立を養う統合的支援能力	
								3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
								4.政策や保健事業を開発する能力	
								5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力	
								6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第 1 回	生活習慣病と成人期を対象とした法制度の変遷 健康づくりの法律の変遷の概要							岸	
第 2 回	健康増進法における成人期を対象とした保健活動								
第 3 回	特定健康診査・特定保健指導の実際① 特定保健指導の 3 つのレベルと保健指導								
第 4 回	特定健康診査・特定保健指導の実際② 積極的支援レベルの保健指導の演習								
第 5 回	高齢者保健の動向および法制度の変遷 認知症基本法、オレンジプラン等高齢者施策、高齢者虐待防止法								
第 6 回	地域包括支援センターにおける保健活動① 介護予防関連の活動								
第 7 回	地域包括支援センターにおける保健活動② 認知症高齢者への支援								
第 8 回	高齢者保健の課題 高齢者虐待事例を通して行政と委託型地域包括支援センターの連携上の課題を検討・考察する								
事前・事後学習	事前学習：テキストの該当箇所を通読すること。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	授業への参加度（討議他）30%、演習 40%、レポート 30%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	◎保健学講座 3 公衆衛生看護活動展開論，メチカルフレンド社 2022								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								